



# なかまだみんな

横浜市立中和田南小学校

電話 802-0979

## 卒業式予行での出来事

校長 山崎 薫

新入生56名、在校生263名、そして職員12名が新たに着任し本年度がスタートしました。新しいクラスでの新たな出会いが多くあったかと思えます。児童の皆さんには気持ち新たに学習に遊びに励んでほしいと願っています。新1年生の保護者の皆様におかれましては「入学」ということで、一層思い出に残る一日になられたことと思えます。心よりお祝い申し上げます。

さて、新年度初の学校日よりですが、少し昨年度のことに触れさせていただきたく思います。

さかのぼること二週間、卒業式を挙行了しました。卒業生は皆、堂々と証書を受け取り立派に成長した姿を見せ巣立っていきました。とてもすばらしい式でしたが、今回お伝えしたいのは、卒業式と同じくらい感動した「卒業式予行」での出来事です。

今年度もコロナ禍の下、感染拡大防止のため、卒業式は人数制限や式の内容を簡素化しての実施となりました。式当日、在校生は参加できません。しかし、何らかの形で卒業式に関われないかと模索した結果、5年生の合唱を録音して卒業生が退場するときのBGMとして流すことと、卒業式予行の日に保護者席に5年生児童が座り、歌をプレゼントすることを考えつきました。5年生にとっては、6年生のために感染対策をしながら短時間での練習を繰り返して取り組んできた合唱です。すでに本番用の録音は終わっていましたが、6年生の目の前で歌えるのはこの一回だけです。

「予行」はほぼ本番通りに流れ、卒業生退場まで終わりました。再度6年生が席に戻った後、6年生と5年生が卒業生の席と保護者席で向かい合って立ちました。5年生の代表児童から挨拶があった後、気持ちを込めた歌声が体育館中に響き渡りました。歌が終わると6年生から自然に感謝の拍手が沸き起こりました。

司会の先生が、「この場で、6年生から5年生への引継ぎの会を行いたいと思います。6年生の皆さん。5年生に伝えたいことはありませんか。」と尋ねました。10名近くの6年生がさっと手を挙げました。委員会活動をさらに盛り上げてほしい、最高学年としてがんばってほしい、もっともっとすてきな中和田南小にしてほしい、素敵な歌をありがとう、委員会で助けてもらったこともあったよ、など一人ひとりが自分の言葉で伝えていました。感動のあまり、途中、言葉を詰まらせながらも一生懸命伝えている子もいました。初めは挙手を躊躇していた子も追って手を挙げ、思いを伝えていました。予行ですので、紅白幕が張られているわけでも、花が飾られているわけでもありません。もちろん普段着です。しかし、この時間と空間は、我々教職員が最上級生としての心構えを説諭して伝えるよりも、はるかに5年生の心に伝わったすばらしいものになったと思えました。私も、あの姿を観て込み上げてくるものがありました。

昨日、新6年生は入学式の会場づくりの手伝いのために登校しました。すばらしい働きぶりでした。あの予行の日の出来事が、昨日の新6年生の姿に現れていたと感じています。上級生と下級生が互いに慕い合ったり尊敬しあったりできる雰囲気があることが中和田南小の良さの一つです。その雰囲気の中で、今年度の6年生も学校生活の様々な場面でのリーダーとして活躍してほしいと思っています。それが、毎年受け継がれていくことを願っています。